

NC  
U 2015

名古屋市立大学  
大学院経済学研究科



# NAGOYA CITY UNIVERSITY *Graduate School of Economics*

全国に先駆けた昼夜開講制の社会人大学院  
早期・長期履修などフレキシブルな対応  
リサーチ・ペーパーで修士号が取得可能

# 経済学専攻

## 経済理論、経済政策および制度・歴史のアカデミズムを求めて

現在われわれを取り巻く経済環境の変化は急速です。少子高齢化やグローバル化の進展というトレンドの中で、震災復興、財政赤字の深刻化など日本経済は多くの難問を抱えています。こうした諸問題に対し、経済学のオーソドックスな分析方法を基礎として多面的に接近することが経済学専攻の特徴です。

本専攻はミクロ・マクロ経済学の理論的発展を目指す「経済理論系」、財政金融政策に関わる実践的問題を取り扱う「経済政策Ⅰ系」、国際経済政策・産業政策などの望ましいあり方を探る「経済政策Ⅱ系」、経済システムの多様性と変化を追究する「制度・歴史系」の4つの系から成り立っています。多様な見地に立つ4つの系の存在により、幅広い問題意識に応える専門知識や分析能力を身につけることが可能です。

### 【主な修士論文（リサーチ・ペーパー：RP）のタイトル、教員一覧】

#### 経済理論系

- チーム医療のインセンティブ設計 —米国 Group Practice の経済学的分析からの学びを日本のチーム医療へ展開する—
- 都市交通が地域に及ぼす経済効果に関する事例研究 —地下鉄桜通線「野並～徳重」延伸に伴う地価上昇効果について—
- 米国の経済教育の現状の分析と日本における経済教育の今後の方向性についての研究
- 農協系統信用事業におけるプリンシパル・エージェント問題 —証券化商品を大量保有するに至ったのはなぜか—
- 大都市既成市街地（名古屋市区別）における人口変動の住宅地価への影響
- RP：自治体病院と一部事務組合病院について —公立陶生病院の事例研究—

岡野 衛士
専門分野：マクロ経済学、開放マクロ経済学
担当科目：金融論
現在の研究課題：開放経済での金融政策

川端 康
専門分野：国際貿易論
担当科目：国際経済学
現在の研究課題：地域貿易協定

木村 匡子
専門分野：人口経済学、マクロ経済学
担当科目：マクロ経済分析
現在の研究課題：出生行動を内生化した経済モデルの構築

澤野 孝一郎
専門分野：ミクロ経済学、応用ミクロ経済学
担当科目：ミクロ経済学
現在の研究課題：医療・航空・公共サービス

外谷 英樹
専門分野：マクロ経済学、経済成長論
担当科目：マクロ経済学
現在の研究課題：自然災害による被害と経済発展の関係についての研究

#### 経済政策Ⅰ系

- 法人税と日本の投資行動に関する考察
- 給与所得控除のあり方について
- 消費税における仕入税額控除制度の考察 —益税及び損税問題を中心に—
- 贈与税の位置づけに関する一考察 —少子高齢時代における贈与税別の役割—
- 酒類の異なる税率の効果に関する分析
- 少子高齢化の進展と自治体財政 —長久手市財政の将来推計と健全財政持続に向けた政策—

稲垣 一之
専門分野：国際金融論
担当科目：国際金融論
現在の研究課題：通貨統合

濱口 泰代
専門分野：実験経済学、公共経済学
担当科目：実験経済学
現在の研究課題：効率的な寄付集めメカニズムに関する実験研究

森 徹
専門分野：財政学、地方財政論
担当科目：地方財政論、租税政策論
現在の研究課題：公共的意思決定機構の有効性に関する実験経済学的研究

森田 雄一
専門分野：経済理論、財政学
担当科目：財政政策論
現在の研究課題：所得分配と経済成長

焼田 党
専門分野：マクロ経済学、公共経済学
担当科目：公共経済学
現在の研究課題：財政赤字と累積公的債務問題

横山 和輝
専門分野：金融論、経済史
担当科目：金融政策論
現在の研究課題：金融システムと経済成長

#### 経済政策Ⅱ系

- 東栄町における過疎化メカニズムに関する研究 —主成分分析による分析—
- 日本の ODA がインドネシアの経済成長に与えた影響の考察
- 障害者の所得保障のあり方に関する分析 —障害年金の観点から—
- 事業の特性を考慮した大都市高速鉄道における規模の経済性の計測
- 中国における若年者の就職・転職に関する研究 —北京市の事例を中心に—
- タイにおける地方間格差の構造 —所得格差とケイバビリティ—

板倉 健
専門分野：国際経済学、貿易政策
担当科目：国際経済関係論
現在の研究課題：貿易政策の CGE モデル分析

内田 真輔
専門分野：資源経済学、応用計量経済学
担当科目：環境経済論
現在の研究課題：気候変動の経済分析、資源分布と経済成長

中山 徳良
専門分野：産業組織論、公益事業論
担当科目：産業組織論
現在の研究課題：規制産業の効率性・生産性の計測

樋口 裕城
専門分野：開発経済学、応用計量経済学
担当科目：経済開発論
現在の研究課題：途上国における産業発展／政策のインパクト評価

山本 陽子
専門分野：労働経済学、社会保障論
担当科目：社会保障論
現在の研究課題：保育サービスが女性の就業行動と出生行動に与える影響の分析

#### 制度・歴史系

- 名張市の社会経済的分析
- 戦時期における豊田業団の事業展開 —綿紡績業の企業整備と軍需転換をめぐって—
- 中国山東省における日系小売業の人材マネジメント —青島イオンの分析—
- 中国における日系企業の現地化に関する一考察
- RP：スウェーデン福祉国家の形成に関する諸学説
- RP：日本の中小企業の現状と進化について

井上 泰夫
専門分野：経済政策、経済学説
担当科目：制度経済学
現在の研究課題：地域経済統合の国際比較制度分析 —EUと東アジア—

木谷 名都子
専門分野：外国経済史、比較産業史
担当科目：比較産業史
現在の研究課題：20世紀前半（特に1930年代）におけるイギリス帝国と日本の経済的関係

藤田 菜々子
専門分野：経済学史、制度経済学
担当科目：経済学史
現在の研究課題：グンナー・ミュルダールの経済学説の研究

山口 明日香
専門分野：日本経済史、日本経営史
担当科目：日本産業史
現在の研究課題：日本の産業化と資源利用

### VOICE 大学院生の声①

#### 大学院で得たこと

北出 敬幸さん（経済学専攻）

私の研究テーマは、日本から諸外国への ODA の効果の実証分析です。経済モデルを計算したり、実際のデータから様々な効果を分析しています。大学院に入り、学部時代にはぼんやりとしか理解していなかった様々な理論や分析手法をより深く理解することが出来ました。この大学は素晴らしい先生方が多く、また少人数での授業が多いためにマンツーマンに近い形で指導を受けることが出来ます。そのため、自分の理解が不十分な点について細かく質問をしたり、アドバイスを受けることが出来、とても勉強になりました。

また、TA（ティーチングアシスタント）をすることによって学部生を指導する機会にも恵まれたため、自分でわかっているつもりになっていた事柄に対する理解が深まりました。





# 経営学専攻

## 実践の背景にある理論を

経営学専攻は、企業活動のグローバル化、会計基準の国際的収斂、金融や情報技術の発展などといった、昨今の企業を取り巻く経営環境の大きな変動の中で、企業活動に関わる諸問題に経営・会計・財務・情報の立場からアプローチすることを目的としています。

本専攻は、企業経営に関する様々な問題を解決する方法を追究する「経営系」、会計情報を利用した管理・計画やその影響を分析する「会計系」、企業の財務政策や経営戦略に関わる諸問題に計量的手法で接近する「ファイナンス・情報系」の3つの系からなります。

3つの系は企業活動の分析については互いに緊密な関係にあり、系の独自性を保ちつつ相互に関連性を持って教育・研究を行うことで、企業マネジメントや会計ファイナンスに関わる高度専門職業人や研究者の育成を目指しています。

## 【主な修士論文（リサーチ・ペーパー：RP）のタイトル、教員一覧】

### 経営系

- 後継者の学習プロセス — 中小鉄工業の事例から —
- 新卒看護師の早期離職 — その現状分析と看護組織要因の考察 —
- 企業家の人材の発掘方法についての考察 — キャリア・アンカーとヒューマン・ネットワークから探る、イノベーションの源泉 —
- 飲食業における経営理念の浸透 — 根岸フーズの事例から —
- 中国におけるトヨタ生産方式の導入についての研究 — 中尾五金（中国）有限公司の事例をもとに —
- RP：グーグルの成長に関する歴史的的分析

大神 正道
専門分野：技術マネジメント、生産管理
担当科目：現代生産管理論
現在の研究課題：技術とコミュニティの共進化に関する研究

奥村 哲史
専門分野：交渉と合意形成、リーダーシップ
担当科目：交渉とリーダーシップ
現在の研究課題：交渉と合意形成策

河合 篤男
専門分野：経営組織論、組織革新
担当科目：経営組織、日本企業と組織革新
現在の研究課題：企業革新に関する研究

下野 由貴
専門分野：経営学、国際経営、サプライヤー・システム
担当科目：国際経営
現在の研究課題：グローバルサプライチェーン戦略

角田 隆太郎
専門分野：企業家論、経営戦略論
担当科目：経営原理、企業論、ワークショップ
現在の研究課題：事業創造プロセスの研究

出口 将人
専門分野：経営戦略論、経営組織論
担当科目：経営戦略、日本企業と経営戦略
現在の研究課題：組織文化についての理論的研究

山本 奈央
専門分野：マーケティング、消費者行動論
担当科目：マーケティング
現在の研究課題：インターネット上の消費者行動研究

### 会計系

- 確定決算主義と報告利益管理行動の分析
- 内部統制報告制度と報告利益管理の分析
- バランスト・スコアカードによる戦略実行と効果測定
- 適格退職者年金制度の廃止に関する要因分析
- RP：わが国の監査報酬の実態と情報内容に関する研究
- RP：第三の財務諸表としての「キャッシュ・フロー計算書」— 直接法の採択に向けて —

小川 淳平
専門分野：会計学
担当科目：国際会計
現在の研究課題：金融機関の会計行動に関する研究

奥田 真也
専門分野：会計学
担当科目：管理会計
現在の研究課題：会計情報の質についての実証分析

高橋 二郎
専門分野：会計学
担当科目：財務分析
現在の研究課題：事業資産会計の構造と機能に関する理論的・実証的研究

吉田 和生
専門分野：財務会計
担当科目：財務会計
現在の研究課題：会計情報の研究

### ファイナンス・情報系

- Valuation of Hong Kong REIT Based on Risk Sensitive Value Measure Method（リスク鋭感的価値尺度に基づく香港リートの価値評価）
- JR 本州3社の安全性確保に関する企業評価 — 重大鉄道事故から見えるもの —
- 事業投資判断に関わる RNPV ロジックモデルの基礎的検討 — 火力発電設備投資を題材に —
- オープンソース開発手法について — ソフトウェアからハードウェアへの展開 —
- RP：J-REITにおける証券市場と実物不動産市場のキャップレートに関する関係性の基礎的検討
- RP：日本の労働時間と少子化 — 日本人の労働時間が少子化に与える影響 —

茨木 智
専門分野：数理計画、オペレーションズ・リサーチ
担当科目：オペレーションズ・リサーチ
現在の研究課題：データの分類・同定に関する研究

白杵 政治
専門分野：年金論、証券投資論
担当科目：企業ファイナンス
現在の研究課題：金融危機後の年金資産運用への影響

河合 勝彦
専門分野：経済・経営情報学、計算経済学
担当科目：経営情報
現在の研究課題：フリー・オープンソースソフトウェアの経済分析

坂和 秀晃
専門分野：コーポレート・ガバナンス、マーケット・マイクロストラクチャー
担当科目：応用企業ファイナンス
現在の研究課題：日本のコーポレートガバナンスに関する実証分析

爲近 英恵
専門分野：応用一般均衡モデル、計量経済学
担当科目：数量分析
現在の研究課題：環境政策に関する実証分析

程島 次郎
専門分野：計量経済学、ファイナンス
担当科目：計量経済学、計量経済学基礎
現在の研究課題：資産価格モデルとその応用

三澤 哲也
専門分野：統計解析、金融工学
担当科目：統計解析
現在の研究課題：プロジェクト事業投資の価値評価とリスク分析

## VOICE 大学院生の声②

### “気付き”が得られる環境

伴野 友宏さん（経営学専攻）



私が大学院に入学した動機は、研究を通じて実業界の発展に貢献したいと考えたためです。名市大は研究者養成を理念に掲げており、そのために必要な講義が数多く開講されています。ここでは、職業・年代・国籍など多様性に富んだ同級生と議論を交わす機会があり、様々な気付きを得ることができます。また、単位互換制度を活用して他大学で開講される講義を受講することもでき、他大学の学生との交流を通じて日常では得難い刺激を受けました。これらを通じて身につけた課題解決能力は、研究者としてはもちろん職業人としても十分に活かせるものだ実感しております。大学院という環境に身を置き、新たな世界の扉を開いてみませんか。

## VOICE 大学院生の声③

### 日本の大学院で学んで

徐 晨さん（経営学専攻）



私が中国の大学を卒業して、日本の大学院に入学した動機は、日本の人々や街、文化をもっと知りたいと思ったからです。また、社会に出て働く上で、グローバルに通用する知識を得たかったからでもあります。本大学院には、外国人研究生制度というものがあります。この制度では、正式に大学院生になる前の一年間に、学部の授業を受けることができます。今振り返って考えると、研究生の時に学んだ知識が、大学院生としての基礎づくりになったと思います。討論中心の大学院の授業はたいへん刺激的です。また、多くの社会人の方々も参加しているので、アカデミックな知識に加えて、彼らから実務的な知識も習得することができます。

# 研究支援

## 修士2年間の授業料で3年間学べる長期履修制度

仕事や家事・介護のため、通常の2年間で修了することが困難な方のための長期履修の制度があります。希望者は入学時もしくは2年進級時に所定の手続きにしたがって長期履修を申告し、それが認められれば、2年分の学費で3年間在籍することができます。

## 昼夜開講制

博士前期課程の授業科目のほとんどは1年ごとに夜間、昼間交互に開講されます。昼間に履修できない社会人の方では、夜間と土曜日の履修のみで修士号を取得する例もあります。

## 修士論文とリサーチ・ペーパー（RP）

修士学位の取得のためには、修士論文もしくはRP1編を作成する必要があります。高い専門性を備えた「研究論文」に代えて、講義科目の内容を深めたRPを作成することで学位を取得することができます。

## 早期修了制度により1年での修士号／博士号取得も可能

優れた業績を上げた場合、1年間で本研究科博士前期課程を修了することができます。また、博士後期課程では、早期修了プログラムを用意しています。一定の研究業績を有する学生について最短1年で修了し、課程博士の学位を取得できるようにするプログラムです。

## 入学前既修得単位認定制度

本研究科では、入学する前に本学大学院又は他の大学院等において履修した授業科目における既修得単位について、一定の範囲で本研究科前期課程において修得したものと認定する制度があります。

## 他大学院との単位互換

名古屋大学、名古屋工業大学および名城大学との間で単位互換の協定が結ばれています。履修した単位は、本研究科教授会にて単位の認定を行います。履修できる科目等は、毎年4月と9月に掲示されます。

## 附属経済研究所

グローバルな視点から地域経済の研究を進める目的で、1996年に設立されました。毎年の公開シンポジウムやプロジェクト研究など、教員及び大学院生の研究・研鑽の場として発展しています。

### VOICE 大学院生の声④

#### 長期履修制度を活用した学び

前田 佳彦さん（経営学専攻）



本学の大学院では、長期履修制度があります。これは、通常2年の課程を3年かけて学習できる制度です（学費は2年と同額）。社会人であることや通学で片道1時間かかることは、体力的に『学びが負荷になる』と判断しました。そして何より、『学びたいことを自分の段取りで無理なく学べること』を優先したいという考えからこの制度を活用しています。

私の研究テーマは、人材育成です。人の成長には、個人の意欲と学ぶ環境が大切であると考えていますが、長期履修制度は、進学を目指す意欲あるみなさまをサポートする環境作りに役立つと思います。学びという自己投資の成果を高めるための手段として、この制度を是非選択してみてください。

# 入試

## 博士前期課程

### ■ 一般選抜

一般選抜（大卒者対象）では、研究計画書に関する面接（口述試験）の他、英語と学科試験を実施し、選抜を行います。

### ■ 社会人特別選抜

大学卒業後3年以上の方を対象とする「社会人特別選抜」試験では、提出された研究計画書をもとにした面接（口述試験）による選抜・合否判定を行います。

### ■ 外国人特別選抜

外国人特別選抜は研究計画書に関する面接（口述試験）の他、日本語小論文と学科試験を実施し、選抜を行います。

## 博士後期課程

博士後期課程の入試では、修士論文（またはそれに準ずる研究成果）、英語筆記試験および研究計画書に関する面接（口述試験）により、学位論文の完成に必要な研究を成就させる能力の有無によって選抜を行います。なお、博士後期課程では、早期修了プログラムを用意しています。

両課程の説明会や入試の日程・募集人員などは、[大学発行の募集要項](#)および[本研究科ホームページ](#)をご覧ください。

## 学位授与数（2015年3月現在）

	授与数
修士	771名（うち社会人416名）
博士	78名（うち社会人25名）

寄付講座の提供など[在学中及び卒業後の活動を支援する同窓会組織](#)として、[社会人修了生を中心とする剣陵会](#)があります。

### VOICE 大学院生の声⑤

#### 実務での経験を学術的な貢献に変える場

神谷 宜泰さん（博士後期課程）



本学の大学院は研究が主体であり、社会人を考慮した時間割や専用の研究室の提供など、落ち着いた環境の中で学ぶことができます。とくに後期課程は少人数であるため、第一線でご活躍中の先生方から一人ひとり丁寧なご指導を頂け、本当に充実した時間を過ごすことができます。また、本学での多彩な学友だけでなく、研究会や学会報告などを通じて様々な大学や機関の研究者や実務家との交流も広がります。

私の研究テーマは中小企業経営ですが、4半紀にわたる自らの経験を学術的に整理し、苦勞している経営者の皆さんに少しでも貢献したいと考えています。学びに定年はありません。皆さんも、アカデミックで充実した毎日にぜひ挑戦して下さい。





## 滝子キャンパス

〒 467-8501 名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑 1

Tel: (052)872-5062

<http://www.econ.nagoya-cu.ac.jp/>

### 【利用交通機関】

#### ◆名古屋駅から

地下鉄桜通線「桜山」駅下車（5番出口）

#### ◆金山駅から

市バス「滝子」下車

市バスターミナル

7番のりば金山11号系統「池下」行き

7番のりば金山12号系統「妙見町」「金山」行き

7番のりば金山16号系統「瑞穂運動場東」行き

8番のりば金山14号系統 桜山経由「瑞穂運動場」行き